

と靴を海外へ送り出す玄関口と
なっている。
そんなシハヌークビル港も、
10数年前は老朽化が著しく、急
増が見込まれる港湾貨物への対
応が急務となっていた。96年、
JICAはシハヌークビル港の
整備計画を策定するための調査
を実施。また99年と04年に、コン
テナ埠頭を400メートル拡張
するとともに、大型クレーンやコ
ンピューターシステムなどを導

入するための円借款を供与した。
港が整備されたことで、カン
ボジアへの進出を考えている
企業にとっては、原材料の輸入
や製品の輸出に対するリスクが
一つ減ったともいえる。外国投
資の誘致に一步前進した瞬間だ。
しかし、港湾の整備・拡張など
ハード面とともに、港湾の管理・
運営を担う港湾庁職員の能力な
どソフト面も併せて向上しなけ
れば、増加するコンテナを効率

的にさばくことは難しい。
そこでJICAは、円借款で
新たに導入されたコンピューター
システムなどの設備を使って
ターミナル全体を効率的にオペ
レーションするための人材育成
に協力。現在、坂田和俊専門家
を中心に、オペレーションの核
となるスタッフの育成から、コ
ンテナヤード^{※2}のレイアウト作
成、ヤード内でのコンテナの移
動方法などについて指導に当た
っている。
日々の苦労を尋ねると、「何事
にも時間がかかりすぎてしまう
こと」と苦笑する坂田専門家。
コンテナヤードのレイアウトを
作成した時には、幾度となく議
論が行われ、決定まで3カ月と
いう時間を要した。そんな場合
でも、「責任感を持って新システ
ムを運用していきけるようになっ
てもらうため、最終決定は港湾
庁職員らの選択に委ねている」
という。4月下旬からは、実際
に新システムを使つての総合運
転のトライアルが始まっており、
「最初はトライアンドエラーを繰
り返しながらかかる外国投資
ていくことになります」と坂田
専門家が話す通り、まずは基本
的なオペレーションができるよ
うになるのが目標だ。

ここ数年、年10%を超える経
済成長率を維持し、政治・経済
ともに安定した国づくりを進め
ているカンボジア。1993年
に憲法が制定されて以来、計画
経済から市場経済へ移行、開発
が急速に進められ、2004年
には世界貿易機関(WTO)への
加盟を果たした。外国直接投資
も徐々に増えており、亜鉛鉄板
の工場やオートバイの組み立て、
自動車販売などの分野でカンボ
ジアに進出する日本企業も見ら
れる。また08年に「日・カンボ
ジア投資協定」が発効され、こ
れを機にカンボジアの投資環境
の整備が進展するとともに、日
系企業の投資が拡大することが
期待されている。
そうした状況の中で、外国投
資の誘致先として有望視されて
いるのが、首都プノンペンから
車で約3時間のところにある南
部の港町シハヌークビル。シハ
ヌークビル港は、大型船舶・コ
ンテナ船による貨物のほぼ全量
を取り扱う、同国最大の国際港
湾だ。97年の時点で7万TEU
^{※1}だった同港のコンテナ取扱量
も、08年には26万TEUにま
で増加。主要産業である縫製品



(上) 船で運ばれてきたコンテナは、クレーンでトラックに載せられ、コンテナヤードに送られる
(左) コンテナヤードのレイアウトを決める会議で港湾庁職員にアイデアを提案する坂田専門家(奥)



シハヌークビル港の全景。JICAは2基のコンテナクレーン(左)とコンテナ埠頭(右)の整備に協力

ハードとソフトの両面から
港湾を整備

港に隣接した
経済特別区の建設

一方、港湾整備と同時に、経済特別区の設置も外国投資の呼び水としての期待が高い。輸出関連産業の開発に大きく貢献するとともに、近年急増する若年層の雇用機会の創出にもつながる。
JICAは、プノンペンとシハヌークビルを結ぶ道路の周辺地域の開発計画策定などに協力。また、シハヌークビル港の隣接地区に、輸出加工区を中心とした約70ヘクタールの経済特別区を建設するための円借款を供与した。2011年の完成を目指して、現在、工場用地や道路、上水設備、下水処理設備などの整備が進められようとしている。さらに、投資家にとって魅力的な投資先となるよう、さまざまな制度設計も行われる。それに加え、電力や通信の需要拡大が予想されることから、円借款により、経済特別区までの送電線や光ケーブルも整備される予定だ。

経済特別区の完成予定地。現在、日系の中小企業2社が進出に向け準備中

※1 20フィートコンテナ1個分に換算した数量の単位。
※2 コンテナを荷役し、一時集積しておく場所。



より魅力的な
投資先となる日を目指して

カンボジア最大の国際外洋港、シハヌークビル港——
この国の経済・産業の発展を支えるコンテナターミナルの稼働が始まる。
外国投資の誘致先として有望視される港の整備とともに、経済特別区の建設などを通して、
JICAは同国の貿易・投資拡大を支援している。